

# 事業完了報告書（実行団体）

|          |                      |
|----------|----------------------|
| 事業名:     | 社会的養護出身者相談サイトコンテンツ作成 |
| 資金分配団体名: | 公益社団法人ユニバーサル志縁センター   |
| 実行団体名:   | 一般社団法人コンパスナビ         |
| 実施時期:    | 2021年6月～2022年2月      |
| 事業対象地域:  | 埼玉県                  |
| 事業対象者:   | 社会的養護出身者             |

Version 3.2

日付: 2022年3月24日 木曜日

## I. 事業概要

|        |  |
|--------|--|
| 事業実施概要 | <p>「社会的養護出身の若者の困りごと相談ポータルサイト」の構築をし、孤立感・金銭管理・仕事上の問題・自活・行政手続き・健康（妊娠）・借金などの相談窓口をサイト上に案内する事業を進めた。コロナの影響を受け正規就労に踏み出せないでいる当事者がコンテンツ作成のアルバイトとして活躍し、団体等への取材を通じ彼ら自身が相談先の存在を知り、また当事者同士の交流を経験する中で自信を深め、正規就労への意欲喚起を醸成していくことを狙いとした。</p> <p>当法人が運営する居場所事業利用者、ブリッジフォースマイル様、全国自立援助ホーム協議会様、MasterPiece様等からの推薦により、本事業アルバイト候補者が約30名参加した。アルバイト開始前には面談し敬語などビジネスマナーの研修を行った。2022年2月時点で、30人の取材アルバイト、7人の入力アルバイト、1人の動画編集アルバイトが従事し、延べ131人の若者がコンテンツ制作に関わることができた。対人に不安のあり資料入力に専従した者が7人、取材動画の編集に能力を発揮した者が1人あった。</p> <p>取材はコロナ禍の中、リアル取材とオンライン取材を逐次取り入れた。12月から3回社会人講座を設け社会に出る前の研修の機会とした。</p> |
|--------|--|

## II. 課題・事業設計の振り返り

|                   |  |
|-------------------|--|
| 課題設定、事業設計に関する振り返り | <p>非正規就労、生活保護受給中で本格的な就労の前段階にいる若者に本事業の担い手になってもらいたいと全国の支援団体や自立援助ホーム協議会に推薦を打診したところ60名余りの若者から応募があった。精神疾患をもち対面に難がある者にも仕事を細分化し入力の仕事を創出したり、動画編集で力を発揮できる生活保護受給中の者を見出したり、事業を進めていく中で多様な働き方に気づきを得た。支援団体への訪問取材ではコロナ感染の悪化への対応や台風時期避けての日程設定に苦慮し、たびたびリスケジュールを余儀なくされた。リアル取材に拘泥することなくオンライン取材を取り入れたことで、全国各地からの取材アルバイト参加が容易になった。判断の時期が遅くなったことは反省点である。月次でオンライン面談の機会をもっていたことで、食糧支援など他の相談をしてくれる場面もあった。社会人講座を義務化したことで前向きな態度が醸成され、かつ地理的には遠くに住んでいるアルバイト同士の交流が深まるようになった。アルバイトを経験する中で生活保護から脱却して正規就労できる者、複数の時短業務を兼務できるようになる者複数名が現れている。</p> |
|-------------------|--|

## III. 今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）※複数設定の場合はコピーし複数記載ください。

| ①受益者 | ②課題    | ③今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）（事業計画から転記）     | ④指標（事業計画から転記）                    | ⑤目標値・目標状態（事業計画から転記）   | ⑥結果(定量化できるものは%も記載、最大100%)   | ⑦考察  |
|------|--------|--|----------------------------------|---|---|--|
| その他  | 就業困難   | より多くの当事者（退所者）がサイト構築のアルバイト終了後に次の仕事につながる | 延べアルバイト数（組数）<br>原稿数<br>サイトへのアップ数 | 2022年2月時点で、延べ50組のアルバイトが、延べ60件のコンテンツアップのための取材、原稿作成が完了していること。 | 2022年2月時点で、30人の取材アルバイト、7人の入力アルバイト、1人の動画編集アルバイト<br>延べアルバイト数 50組<br>取材/原稿作成が完了している数 60件 | 生活保護から脱却2名（1名は正規就労、1名は複数の時短労働開始）   |
| その他  | 相談先の不足 | 目の前の困りごとを解消に向かわせることができる                | 延べアルバイト数（組数）<br>原稿数<br>サイトへのアップ数 | 同上  | 同上  | 就労支援団体取材することで相談先を見つけたり自分の居住地の相談先にアクセスする意識が持てた者が20名   |
| その他  | 引きこもり  | 社会的孤立や経済的困窮などの予防につながる                  | 延べアルバイト数（組数）<br>原稿数<br>サイトへのアップ数 | 同上  | 同上  | メンタルに不調を抱える退所者、施設入所中の引きこもり高3生、が入力業務で適職を見つけるきっかけとなった。うつ症状等で生活保護下にある者が動画編集に能力を発揮、短期就労に踏み出した。 |

## IV. アウトカム（事業実施以降に目標とする状況）\*

|                          |  |
|--------------------------|--|
| 事業実施以降に目標とする状況（事業計画から転記） | 社会的孤立や経済的困窮などの困りごとを抱える若者が、当事者（退所者）による退所者のためのポータルサイトコンテンツ取材・作成に携わる中で、支援団体や行政窓口、他の当事者との連携の経験を通して、困りごとを一人で抱え込むことなく、他者に相談できるようになる。   |
| 考察等                      | <p>そもそもアフターケア支援団体の存在、支援内容を知る機会が今までなかったこと自体を本アルバイト経験で知ったとの声が多数。自立援助ホーム入所中の若者を退所後相談先となる支援団体取材をしてもらったことで、退所前からのつながりができた好事例ができた。</p> <p>出身施設の後輩の困窮を、本事業の中で当団体に伝えてくれて、実際の支援につながった例がある。</p> <p>支援団体同士の連携ができつつあり、地域的に離れた団体同士で住宅支援、居場所支援、の情報交換が始まっている。</p> <p>全国の児童養護施設が児童の巣立ちに際して他県での相談先を把握できるようになっていく下地ができてきた。</p> |

## V. 活動

| 活動  | 進捗     | 概要  |
|---|--------|---|
| <p>【より多くのユースが、サイト構築のアルバイト終了後に次の仕事につながる】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>取材先として、就労支援ができるもしくは就労支援につながる全国の60団体（目標）を選定</li> <li>今回のアルバイト自体が、累計で80名（目標）の就労前訓練となる</li> <li>就職にむけた基本的スキルを身に着ける機会とし、就労につなげる</li> </ul>   | 遅延あり   | <p>生活保護受給中の者は精神疾患など程度が様々であり、就労に向かわせる態度・関心のきっかけとなった程度にとどまっている例もある。</p> <p>非正規で働いている者の中に正規就労への態度・関心が固まってきた者が多く、礼儀、言葉遣いが身につけてきている者が増えていることが者会人講座の中で見て取れる。</p> <p>生活保護から脱却2名（1名は正規就労を2月から開始できた、1名は複数の時短労働を開始した）</p> |
| <p>【目の前の困りごとを解消に向かわせることができる】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>取材中に、直接支援団体に相談できる流れを作る。</li> <li>取材先の支援団体を通して、地域の自治体などの支援の仕組みとつながる</li> </ul> <p>課題ごとに地域ごとの行政窓口、法テラス、警察、医療機関などに紹介や同行支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の支援団体と連携して、上記の寄り添いを共有</li> </ul>  | ほぼ計画通り | <p>出身施設の後輩の困窮を、本事業の中で当団体に伝えてくれて、実際の支援につながった例がある。</p> <p>ほかに、食糧支援・衣料品支援依頼を申し出る者が2名あった。</p>   |
| <p>【社会的孤立や経済的困窮などの予防につながる】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>取材先の支援団体と直接つなげる → 日常の見守りにつながる</li> <li>取材の前に研修・打合せを重ねる（打合せもアルバイトの対象）</li> <li>取材先の支援団体を通して、地域の自治体などの支援の仕組みとつながる</li> </ul> <p>彼ら当事者アルバイトにより構築されるwebサイトの意義を関係者が認知しておく</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①社会的養護出身者を中心に、困難を抱えている若者たちと支援先をつなげるポータルサイトである。</li> <li>②掲載した支援者同志のネットワークを構築する</li> </ol> | ほぼ計画通り | <p>支援団体同士の連携ができつつあり、地域的に離れた団体同士で住宅支援、居場所支援、の情報交換が始まっている。</p> <p>アルバイトの出身県から離れた現在在住の県での支援団体に自ら訪問しつながりが始まった。</p> <p>「なびんちサイト」のコンテンツの充実で全国の児童養護施設が児童の巣立ちに際して他県での相談先を把握できるようになっていく下地ができてきた。</p>                     |

## VI. 想定外のアウトカム、活動、波及効果など

|                            |   |
|----------------------------|---|
| <p>想定外のアウトカム、活動、波及効果など</p> | <p>オンライン取材の日程調整していく中で、住所支援の相談先を伝える事例があり、2月に公開した「なびんちサイト」を活用するのは、退所した若者、支援団体、児童養護施設や自立援助ホーム、里親家庭である。頼りにしてもらえるサイトにしていくことが使命であると痛感している。</p> <p>3月になって現在メディアから数か所取材を受けている。</p> <p>取材先のアフターケア団体の活動に今後運営者を助ける立場で参加するとのアルバイトの声が大阪と広島、北海道で出てきた。</p> |
|----------------------------|---|

VII. 事業終了時の課題を取り巻く環境や対象者の変化と次の活動

|           |  |
|-----------|--|
| 課題を取り巻く変化 | <p>アルバイトは社会に踏み出すきっかけとなれたことで、自分に自信が付き、なによりサイト構築に貢献することで、同じ境遇の若者たちのためになるとの自覚が醸成されてきた。困窮の度合いがひどくなる前に相談先につながることで、頼ってもらいたいということを知ったアルバイト経験者たちが、身近な人たちに伝えていく流れができてきつつある。</p> <p>アルバイトを申し出てきたものの初回の面談ののち音信不通になってしまった者や、他責感情の強い者もあり、それぞれの状況は千差万別で、ひとくくりに「社会的養護出身者で就労に困難を来している者」というアプローチも多様でなければならないことを知り、困ったときは相談してくれる種まきになったと考えている。</p> |
|-----------|--|

VIII. 他団体との連携

| 連携先                   | 実施内容・結果   |
|-----------------------|---|
| アフターケア事業の全国ネットワークえんじゅ | 本事業でサイトに掲載する団体が加盟しており、加盟諸団体が取材先として連携させていただいている。 |
| ブリッジフォースマイル           | アルバイトの推薦に多大な協力をいただいている。                         |
| 全国自立援助ホーム協議会          | アルバイトの推薦に多大な協力をいただいている。                         |
| MasterPiece           | アルバイトの推薦に多大な協力をいただいている。                         |

IX. インプット ※事業完了月の月次収支管理簿の金額を入力ください。（精算金額と一致させる必要はありません）

|      |       | 計画額       | 実績額       | 執行率    |
|------|-------|-----------|-----------|--------|
| 事業費  | 直接事業費 | 3,915,000 | 3,993,585 | 102.0% |
|      | 管理的経費 | 270,000   | 204,625   | 75.8%  |
| 合計   |       | 4,185,000 | 4,198,210 | 100.3% |
| 補足説明 |       | 特になし      |           |        |

X. 広報実績

| 広報内容                          | 内容  |
|-------------------------------|---|
| 1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）   | <p>NHK埼玉 2/16取材 3月第4週放映予定</p> <p>埼玉新聞 2/2取材 3/21朝刊掲載</p> <p>共同通信 2/17取材 今後47都道府県の地方紙に配信</p> |
| 2.広報制作物等 当該事業費を使って製作したもの      | なし  |
| 3.広報制作物、購入物等でシンボルマークの活用方法（事例） | <p>「なびんち」サイトにシンボルマーク掲載</p> <p><a href="https://navinchi.jp/">https://navinchi.jp/</a></p>   |
| 4.報告書等                        | なし  |

XI. ガバナンス・コンプライアンス実績

| ①規程類※の整備実績  | 状況                                       | 内容   |
|---|--|--|
| 1.事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。                        | 完了                                       |  |
| 2.上記設問1で「整備中」の場合は、事業開始時と比較して、整備状況がどのように改善されたかを記載してください。 |  |  |
| 3.整備が完了した規程類を自団体のwebサイト上で広く一般公開していますか。                  | 全て公開した                                   |  |
| 4.変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。                          | 変更があり報告済                                 |  |
| ②ガバナンス・コンプライアンス体制                                       | 状況                                       | 内容   |
| 1.社員総会、評議員会、理事会は、規程類の定める通りに開催されていますか。                   | はい                                       |  |
| 2.利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。                           | はい                                       |  |
| 3.関連する規程類や資金提供契約の定めどおり情報公開を行っていますか。                     | はい                                       |  |
| 4.コンプライアンス委員会またはコンプライアンス責任者を設置していましたか。                  | はい                                       |  |
| 5.ガバナンス・コンプライアンスの整備や強化施策を検討・実施しましたか。                    | はい                                       |  |
| 6.報告年度の会計監査はどのように実施しましたか。<br>(実施予定の場合含む) (複数選択可)        | <input checked="" type="checkbox"/> 外部監査 | 報告年度が令和2年度分であれば公認会計士としての外部監査を令和3年8月に行っている。令和3年度であれば、令和4年7月が法人の期末になるため、それに合わせ公認会計士である監事が内部監査を行う予定である。 |
|   | <input checked="" type="checkbox"/> 内部監査 |  |
|   | <input type="checkbox"/> 実施予定はない         |  |
| 7.本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金等を申請、または受領していますか。           | いいえ                                      |  |
| 8.内部通報制度は整備されていますか。                                     | はい                                       |  |